

予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

事業名 **新**消防団活動時感染防止対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防課 企画係 電話番号：058-272-1111 (内 2471)

E-mail： c11193@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 21,450千円 (現計予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	21,450	0	0	0	0	0	0	0	21,450
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

少子高齢化などの影響から、県内市町村の消防団員数が減少している中で、地域防災力の中核を担う消防団員を確保することが、緊急かつ重要課題である。

消防団活動において、訓練は必要不可欠であるため、訓練等の活動時における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、団員が安心して訓練に参加できる環境を早急に整える必要がある。

(2) 事業内容

消防団が訓練する際に、現場で速やかに体調管理できるよう、県内すべての消防団の分団、部等に非接触型体温計を配備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内すべての消防団に対して体温計を同時に配備することで、訓練時等の

感染拡大防止をオール岐阜体制で図ることができる。

消防団が率先して感染拡大防止を進めることで、3密対策が必要な地域活動の模範となり、団員の感染防止対策に係る意識が向上するとともに、消防団活動のPRにもつながるため、人口減少、少子高齢化社会の中で減少傾向にある消防団員の確保対策にもつながる。

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	21,450	非接触型体温計 21,450 千円
消耗品費		@ 14,300 (税込) × 1,500 (個) = 21,450,000
合計	21,450	

決定額の考え方

4 事業費の積算内訳

(1) 各種計画での位置づけ

(2) 国・他県の状況

(3) 後年度の財政負担

(4) 事業主体及びその妥当性

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 消防団の訓練時等において、新型コロナウイルス感染防止対策を実施する必要があるため、非接触型体温計を緊急かつ県内全ての消防団に対して配備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移	現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H) (H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、消防団員が安心して訓練等に参加できるように、一時的に早急に配備することが重要であり、継続して事業を実施するものではないため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） <p>○：必要性が高い △：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○</p> <p>訓練時等は密集せざるを得ない状況もあり、消防団内において集団感染が生じることも想定され、早急に感染防止対策を県内すべての消防団に対して行う必要がある。</p> <p>非接触型体温計を配備することで、現場での体調管理が可能になるだけでなく、団員の感染防止対策に係る意識が向上するとともに、消防団活動のPRにもつながるため、人口減少、少子高齢化社会の中で減少傾向にある消防団員の確保対策にもつながる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <p>○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている</p> <p>△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <p>○：効率化は図られている △：向上の余地がある</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>—</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>—</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	